

安心して暮らし続けられる まちづくりをめざして

協議体 活動中です!



協議体って何ですか？



「協議体」は介護保険制度の中に位置づけられている「話し合いの場」です。高齢になっても地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを目指して、ボランティアや支え合い活動等「地域による支え合い」を広げていくことに取り組んでいます。

目指す地域像

ほっとかないよ 笑顔がひろがる榛名の地 気かけ声かけ支えあう

会議のメンバーで決めた「目指す地域像」の実現に向け、話し合いを続けています（令和2年度はコロナウィルスの関係で話し合いの場がなかなか持てませんでした）。

会議には区長さん、民生委員さん、地域づくり団体、ボランティア、榛名地区住民の皆さん、社会福祉協議会、高齢者あんしんセンター、高崎市長寿社会課など、様々な立場の方が同じ目線で参加しています。

なぜ、高齢者が地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを行うの？

人生の最後まで住み慣れた地域で暮らしていきたいと、多くの人が願っています。ところが、高齢になり介護が必要になると、医療や介護を受けるために、本人の意思に反して他所に移り住まなければならないことも多々あります。

そこで国では、地域の中で医療・介護・予防・住まい・生活支援がまとめて提供できる体制、「地域包括ケアシステム」をつくり、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めているのです。

なぜ、地域ごとに協議体を設けるの？

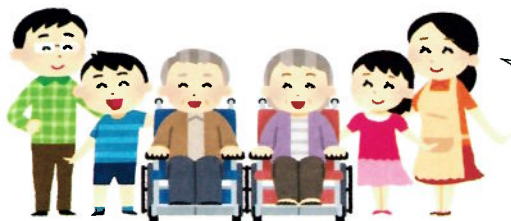
1人暮らし世帯の増加に伴い、生活を送る上での支援を必要とするご高齢の方も増加しています。一方で、高齢期の趣味活動や健康づくりの場などへの参加は、生きがいや介護予防につながるということがわかっています。

ご高齢の方に対する生活支援や社会参加をお手伝いする担い手としては、ボランティア、NPO、民間企業など住民の参加が欠かせません。

また、高齢化の進み方には大きな地域差があります。例えば榛名地区では、高齢化率（人口に占める65歳以上の割合）が、すでに30%を超えていますが、同じ高崎市内でも10%台の地域もあります。

そのため、それぞれの地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて住民の参画方法を考えていくことが必要になります。

地域で暮らし、地域のことを良く知っている住民が協議体に参画し、意見交換することは、とても重要なことです。



地域のことを、地域の住民が話し合う場、それが、協議体です。

榛名地区協議体ではこれまで地域の様々な課題について意見交換し、次のような活動が生まれました！



居場所「誰かいるかい」
毎週木曜日 9:00-12:00・高浜交流館

居場所「さかみち・よりみち」
毎週月曜日 13:30-16:30・坂上住民センター



居場所「つどいの場・あしたば」
毎週水曜日 13:00-16:00・高浜中西部

「居場所」とは？

高齢者の自立支援を促進し、住民同士のつながりや支え合いの創出拠点として、地域や世代を越えて、誰もが自由に参加できることを目指した集いの場です。

協議体活動を通じて生まれた居場所が、市内には12か所あります。（令和3年3月現在）

皆様の声を聞かせてください！！

安心して暮らし続けられるまち作りを目指して、みんなで「できること探し」を始めてみませんか？

＜問い合わせ先＞	高齢者あんしんセンターはるな	027-395-6580
	高齢者あんしんセンター新生会	027-395-8080
	高崎市社会福祉協議会榛名支所	027-374-5185
	高崎市長寿社会課	027-321-1319